

E I A J - E D I レコードフォーマット
(1 D バージョン)

2 0 1 1 年 4 月 1 日

N E C ア ク セ ス テ ク ニ カ

資 材 部

目 次

1. 情報の種類	1
2. 伝送方式	2
3. ファイル作成時間	3
4. 注意事項	3
5. レコードレイアウト	4
6. 変更・取消データの作成方法	19
7. 納品方法	20
8. 納品場所	21

1. 情報の種類

対象情報は以下のとおりです。

情報区分	情報の種類	発生頻度	備 考
0201	所要計画情報	週	任意。
0301	見積依頼情報	※注1	任意。
0302	見積回答情報	※注2	任意。
0502	確定注文情報	※注1	必須。注文行為。標準納品書、Dラベル出力を行う。
0503	変更注文情報	※注1	必須。注文変更行為。〃
0504	注文取消情報	※注1	必須。注文取り消し行為。
0505	注文打切情報	※注1	必須。注文打ち切り行為。
0601	注文残高確認情報	月	任意。項目付加タイプ実施先で、希望先のみ。
0701	納期確認情報	※注1	任意。
0702	納期回答情報	※注2	任意。
0703	納入指示情報	※注1	必須。標準納品書、Dラベル出力を行う。
0705	入荷情報	※注1	必須。受取書の変わりとなる。
0801	検査情報	※注1	必須。不良内容通知。
0901	検収情報	※注1	必須。通常検収および不足情報の通知。
1101	買掛明細情報	月	任意。検収明細表の内容。実働2日転送。
9001	受信確認レコード	注2	確定注文、変更注文、注文取消、注文打切、納入指示については必須。他は任意。貴社から当社へ送信。

※注1：6回／日（9:00、12:00、14:00、16:00、18:00、夜間）

※注2：貴社よりご送付いただいたデータを逐次取込

※0件データについては作成いたしませんので、データが発生しなかった場合、ファイルは作成されません。

2. 伝送方式

(1) E I A J－E D I 標準のバージョン

E I A J－E D I 標準のバージョンは、E I A J 取引情報化対応標準 1 9 9 4 年版（1 D）、1 9 9 7 年版（2 E）、1 9 9 8 年度追補版（2 F）、1 9 9 9 年版（2 G）の対応が可能です。

(2) マルチ明細の設定方法について

①注文情報のマルチ明細は「No. 031 納期」「No. 032 納入指示数量」「No. 159 納品キー番号」「No. 170 変更注文区分」の 3 箇所です。

「No. 031 納期」「No. 032 納入指示数量」「No. 159 納品キー番号」は反復単位は 3 1 回となります（ただし確定注文はレイアウト上反復単位 3 1 回ですが、データは 1 番目のみセットします）。項目付加タイプはレイアウト上反復単位 3 1 回ですが、データは 1 番目のみセットします。

「No. 170 変更注文区分」について、反復単位は 1～3 回となります。

②納入指示情報のマルチ明細は「No. 032 納入指示数量」「No. 033 納入指定日」「No. 159 納品キー番号」の 3 個所で、繰り返しがある場合があります。

(3) データ送信順序

入荷情報／検収情報

貴社の納品をもって同時に送信いたします。

検査情報

- ・ 有検査品：入荷／検収情報の後に送信いたします。
- ・ 無検査品：入荷／検収情報と同時に送信いたします。

(4) 伝送テスト方式

メッセージグループヘッダー内の運用モードをテスト（運用区分＝1）にして実施します。

3. ファイル作成時間

(1) データ作成のタイミング

情報ファイルの作成タイミングは、日に6回あり、当社送信タイミングは9:00、12:00、14:00、16:00、18:00、夜間になります。夜間分は、当日の午後11:00頃にC&C-VANセンターにファイルが格納されます。（データ量により時間差が生じます）なお、当社システムでトラブルがあった場合は、ファイル作成が遅れる場合があります。

(2) VANtoVANによる運用の場合

VANtoVANの場合も、C&C-VANに加入していただく場合とファイル作成の時間帯はあまり変わらないと思われますが、加入の他社VANにご確認下さい。

4. 注意事項

E I A J 標準仕様を当社独自に運用する項目についてご説明します。ご対応をお願いいたします。

(1) 「No.011 注文年月日」について

変更注文、注文打切、注文取消の「No.011 注文年月日」は、それぞれ変更、打切、取消を行った年月日をセットいたします。

(2) 品名コードの変更について

「No.021 版数」「No.022 品名」「No.024 発注者品名コード」「No.173 図面・仕様書番号」を変更する場合は、注文を取り消し、新たに確定注文を発生させる仕様になっていますが、当社ではこれらの項目を注文番号を変えずに変更することができるため、E D I データでも変更注文として発生させます。

この場合の「No.170 変更注文区分」には「99」（その他）をセットします。

(3) バーコード印字項目の1バイトカタカナについて

「No.024 発注者品名コード」「No.161 発注者用バーコード情報」は納品書兼検査票、荷札（Dラベル）にバーコード印字する項目で、1バイトのカタカナがセットされる場合があります。

その場合は、バーコードの印字はできませんので、目視項目のみ印字していただきますようご対応下さい。

(4) 「No.160 受渡場所名」について

「No.160 受渡場所名」には次の項目をセットします。

これらの項目を納品書兼検査票、荷札（Dラベル）に表示したいためです。納品書兼検査票、荷札（Dラベル）には、全てをそのまま印字して下さい。

E I A J 項目	桁数	位置	N E C 項目名
160 受渡場所名 X(20)	X(6)	1- 6	受渡場所名
	X(6)	7- 12	社内届先
	X(1)	13- 13	ブランク
	X(6)	14- 19	検査担当
	X(1)	20- 20	ブランク

5. ファイルレイアウト（1Dバージョン）

情報の流れ	発生頻度
当社→貴社	※注3

【メッセージグループヘッダー】

項番	項目名	項目内容	桁数
1	運用モード	本番＝0、テスト＝1	X(1)
2	発信者側センタコード 所属VANコード 発信センタコード	106010166509 106010182360	X(12) X(12)
3	発信者コード	113390222222	X(12)
4	受信者側センタコード 所属VANコード 受信センタコード		X(12) X(12)
5	受信者コード		X(12)
6	ビジネスプロトコル 識別コード	EIAJ011D (2Eの場合は“EIAJ012E”)	X(8)
7	リザーブ		X(12)
8	情報区分コード		X(4)
9	トータル項目No. 項目1	情報区分 (0201) No.032 (所要計画数量) (0301) No.077 (見積回答数量) (0502～0505) No.015 (注文数量) (0701) No.042 (確認数量) (0703) No.032 (納入指示数量) (0705) No.013 (単価) (0801) No.047 (不良数量) (0901) No.048 (検収単価) (1101) No.048 (検収単価)	X(3)
	項目2	情報区分 (0201) なし (0301) なし (0502～0505) No.032 (納入指示数量) (0701) なし (0703) なし (0705) No.036 (納入数量) (0801) No.121 (検査合格数量) (0901) No.050 (検収数量) (1101) No.050 (検収数量)	X(3)
10	フォーマットID	11 (固定長伝送可変フォーマット)	X(2)
11	リザーブ		X(10)
12	作成日付時刻		X(12)
13	リザーブ		X(122)

【メッセージグループトレーラー】

項番	項目名	項目内容	桁数
1	最終シーケンスNo.	トレーラレコード直前のデータレコードのシーケンスNo.	9(5)
2	トータル項目 項目1	メッセージ・グループ・ヘッダー・レコードのトータル項目 No.で指定されたデータ・レコード内の数値項目の値の合計	9(12)V(3)
	項目2	同上	9(12)V(3)
3	リザーブ		X(214)

※ 注3：6回／日（9:00、12:00、14:00、16:00、18:00、夜間）

【所要計画（０２０１）】

情報の流れ	発生頻度
当社→貴社	※注 7

No.	項目名	CD	項目内容	桁数
001	データ処理No.		連番	9(5)
002	情報区分コード	*	“０２０１”	X(4)
003	データ作成日		データ発生日	9(6)
004	発注者コード	*	“１１３３９０２２２２２”	X(12)
005	受注者コード	*	貴社統一企業コード６桁＋枝番６桁	X(12)
008	製造番号		計画品の原価管理等に結びつく製造管理番号	X(19)
006	発注部門コード		要求元コード(5)+発注担当コード(1)+工程担当コード(2)	X(8)
009	訂正コード	*	“１”＝新規	X(1)
010	コック区分		かんばん区分 “０”＝かんばん非対象 “Ｎ”＝納入代行 “Ｘ”＝TOPICSかんばん “Ｈ”＝共同ＨＵＢ “Ｔ”＝かんばん＝発注	X(1)
012	単位	*	単位	X(3)
017	支給区分		“１”＝支給なし、“２”＝有償、“３”＝無償	X(1)
018	購買担当		購入（発注）担当バイヤを示すコード	X(7)
019	材質・規格・寸法		材質・規格・寸法を表す	X(20)
020	仕様書有無		図面・仕様書等の有無を示すコード	X(1)
021	版数		版数	X(3)
022	品名		品名	X(30)
023	受注者品名コード	*	受注者品名コード	X(25)
024	発注者品名コード		発注者品名コード+版数（22）+版数（3） ※注 4	X(25)
026	荷姿		１パッケージ当たりの梱包数量ならびに梱包方法を示すコード	X(7)
031	納期	*	納期（繰り返し数３１回）	9(6)×18
032	所要計画数	*	所要数量（繰り返し数３１回）	9(9)V(3)×18
056	備考		資材区分 X(4) 1-4 ブランク X(3) 5-7 規格 X(4) 8-11 ブランク X(18) 12-29 かんばん区分 X(1) 30-30 “０”＝かんばん非対象 “Ｎ”＝納入代行 “Ｘ”＝TOPICSかんばん “Ｈ”＝共同ＨＵＢ “Ｔ”＝かんばん＝発注	X(30)
062	計画番号	*	発注者が所要計画情報に付与した管理番号、一意性を持たせる。在庫番号	X(23)
063	計画年月日	*	計画を立案した日付	9(6)
081	標準納入日数		標準納入日数	9(3)
151	エンドユーザー名		商社経由の取引において、商社に対する元発注者の名称あるいはコード、商社と受注者間で必要になった場合に使用する	X(20)
158	指定メーカー名		商社経由の取引において、商社に対する元発注者が商社に指定した計画品を製造するメーカー名	X(20)
165	所要期間		先頭納期からの所要量の計画期間を暦日数で表す	9(3)
166	契約条件区分		契約の種類を示すコード、継続注文、都度注文等	X(1)
171	機種コード		所要計画を提示した製品を使用して製造する機種・ユニットを表すコードまたは略称	X(20)
177	戦略物資区分		戦略物資該当品か非該当品かを示すコード	X(1)
183	発注品仕様		所要計画を提示した製品の仕様	X(120)
184	発注部門名		原価の責任部門または納入部門を示す発注者部門名称	X(20)

※注 4：発注者品名コードが、ブランクの場合は“／”

※注 7：週（ＳＢＵ別に発生、発生日は異なる）

【見積依頼（０３０１）】

情報の流れ	発生頻度
当社→貴社	※注 3

No.	項目名	CD	項目内容	桁数
001	データ処理No.		連番	9(5)
002	情報区分コード	*	“０３０１”	X(4)
003	データ作成日		データ発生日	9(6)
004	発注者コード		“１１３３９０２２２２２”	X(12)
005	受注者コード		貴社統一企業コード6桁+枝番6桁	X(12)
006	発注部門コード		要求元コード(5)+発注担当コード(1)+工程担当コード(2)	X(8)
009	訂正コード		“１”＝新規、“３”＝取消	X(1)
012	単位	*	単位	X(3)
014	単価区分	*	“1”=決定, “2”=変更, “3”=概算, “4”=算定方式による, “5”=未定(試作品等), “6”=未定(修理品), “7”=未定(仕様未決定)	X(1)
017	支給区分	*	“１”＝支給なし、“２”＝有償、“３”＝無償	X(1)
018	購入担当		購入（発注）担当バイヤを示すコード	X(7)
021	版数		版数	X(3)
022	品名		品名	X(30)
023	受注者品名コード		受注者品名コード	X(25)
024	発注者品名コード		発注者品名コード+版数(22)+版数(3) ※注 4	X(25)
055	自由使用欄		以下の通りに分割使用する。 ロットサイズ 1 9(9) 1- 9 ロット単価1 9(12)V9(5) 10- 26 ロットサイズ 2 9(9) 27- 35 ロット単価2 9(12)V9(5) 36- 52 ロットサイズ 3 9(9) 53- 61 ロット単価3 9(12)V9(5) 62- 78 購入地区 X(1) 79- 79 資材区分 X(4) 80- 83 ブランク X(17) 84-100	X(100)
056	備考		見積依頼メッセージ	X(30)
072	見積依頼番号		見積依頼番号	X(23)
073	見積依頼年月日		見積依頼年月日	9(6)
074	回答提出期限		見積回答期限	9(6)
077	見積依頼数量		見積所要数量	9(9)V9(3)
078	希望単価		ロット単価 1	9(10)V9(3)
081	標準納入日数		標準納入日数	9(3)
082	決済条件区分	*	下請事業者：“３”＝交付書面による それ以外：“２”＝別途協議による	X(1)
085	適用開始年月日		適用開始年月日	9(6)
086	適用終了年月日		適用終了年月日	9(6)
158	指定メーカー名		メーカーコード+購入先名+略頭14桁	X(20)
173	図面・仕様書番号		図面・仕様書番号	X(30)
184	発注部門名		原価の責任部門または納入部門を示す発注者部門名称	X(20)
188	工事件名		プロジェクトコード	X(40)

※注 3：6回／日（9:00、12:00、14:00、16:00、18:00、夜間）

※注 4：発注者品名コードが、ブランクの場合は“／”

【見積回答（０３０２）】

情報の流れ	発生頻度
貴社→当社	※注 5

No.	項目名	CD	項目内容	桁数
001	データ処理No.		連番	9(5)
002	情報区分コード	*	“0 3 0 2”	X(4)
003	データ作成日		データ発生日	9(6)
004	発注者コード		“1 1 3 3 9 0 2 2 2 2 2 2”	X(12)
005	受注者コード		貴社統一企業コード6桁+枝番6桁	X(12)
006	発注部門コード		見積依頼者部門コード	X(8)
009	訂正コード		“1”＝新規、“2”＝変更、“3”＝取消	X(1)
012	単位	*	単位	X(3)
017	支給区分	*	“1”＝支給なし、“2”＝有償、“3”＝無償	X(1)
018	購入担当		購入（発注）担当バイヤを示すコード	X(7)
021	版数		版数	X(3)
022	品名		品名	X(30)
023	受注者品名コード		受注者品名コード	X(25)
024	発注者品名コード		発注者品名コード+版数(22)+版数(3) ※注 4	X(25)
056	備考		見積依頼メッセージ	X(30)
072	見積依頼番号		見積依頼番号	X(23)
073	見積依頼年月日		見積依頼年月日	9(6)
075	見積形態区分	*	見積形態区分	X(1)
077	見積回答数量		回答ロット数量（繰り返しの場合あり）	9(9)V9(3)×8
078	見積単価		見積単価（繰り返しの場合あり）	9(10)V9(3)×8
081	標準納入日数		標準納入日数	9(3)
082	決済条件区分	*	下請事業者：“3”＝交付書面による それ以外：“2”＝別途協議による	X(1)
085	適用開始年月日		適用開始年月日	9(6)
086	適用終了年月日		適用終了年月日	9(6)
090	見積回答年月日		見積回答年月日	9(6)
091	見積有効年月日		見積有効期限	9(6)
092	営業担当		見積作成者	X(7)
093	最低発注数量		下限数	9(9)V9(3)
094	見積辞退区分	*	見積辞退区分	X(1)
158	指定メーカー名		メーカーコード	X(20)
173	図面・仕様書番号		図面・仕様書番号	X(30)
188	工事件名		プロジェクトコード	X(40)

※注 4：発注者品名コードが、ブランクの場合は“／”

※注 5：貴社よりご送付頂いたデータを逐次取込。

【確定注文（0502）、変更注文（0503）、注文取消（0504）、注文打切（0505）】

情報の流れ	発生頻度
当社→貴社	※注 3

No.	項目名	CD	項目内容	桁数
001	データ処理No.		連番	9(5)
002	情報区分コード	*	“0502” or “0503” or “0504” or “0505”	X(4)
003	データ作成日		データ発生日	9(6)
004	発注者コード		“113390222222”	X(12)
005	受注者コード		貴社統一企業コード6桁+枝番6桁	X(12)
006	発注部門コード		要求元コード(5)+発注担当コード(1)+工程担当コード(2)	X(8)
007	注文番号		“製造番号” + “+” + “行番” ※ 「かんばん=発注」品は、 AT+事業部CD+TP+受渡場所+TOPICS納番+年月	X(23)
009	訂正コード	*	” 1 ” (新規)	X(1)
011	注文年月日		注文年月日	9(6)
012	単位	*	単位	X(3)
013	単価		単価	9(10)V9(3)
014	単価区分	*	“1”=決定, “2”=変更, “3”=概算, “4”=算定方式による, “5”=未定(試作品等), “6”=未定(修理品), “7”=未定(仕様未決定) ※注6	X(1)
015	注文数量		注文数量。注文取消では取消数量、注文打切では打切数量	9(9)V9(3)
016	注文金額		注文金額。注文取消では取消金額、注文打切では打切金額	9(10)
017	支給区分	*	“1” = 支給なし、“2” = 有償、“3” = 無償	X(1)
018	購買担当		購入(発注)担当バイヤを示すコード	X(7)
021	版数		版数	X(3)
022	品名		品名	X(30)
023	受注者品名コード		受注者品名コード	X(25)
024	発注者品名コード		発注者品名コード+版数(22)+版数(3) ※注4	X(25)
028	受渡場所		受渡場所コード	X(8)
029	検査区分		無検査サイン “M” = 無検査 “Z” = M以外	X(3)
031	納期		納期(繰り返しの場合あり)	9(6)×31
032	納入指示数量		納入指示数(繰り返しの場合あり)	9(9)V9(3)×31
055	自由使用欄		以下の通りに分割使用する。 <div> <div> <div>摘要</div> <div>X(81)</div> <div>1- 81</div> </div> <div> <div>発注区分</div> <div>X(2)</div> <div>82- 83 “K1”=かんばん=発注</div> </div> <div> <div>ブランク</div> <div>X(1)</div> <div>84- 84</div> </div> <div> <div>納番</div> <div>X(5)</div> <div>85- 89</div> </div> <div> <div>ブランク</div> <div>X(1)</div> <div>90- 90</div> </div> <div> <div>背番号</div> <div>X(4)</div> <div>91- 94</div> </div> <div> <div>ブランク</div> <div>X(1)</div> <div>95- 95</div> </div> <div> <div>かんばん区分</div> <div>X(1)</div> <div>96- 96 “0” = かんばん非対象 “N” = 納入代行 “X” = TOPICSかんばん “H” = 共同HUB “T” = かんばん=発注</div> </div> <div> <div>資材区分</div> <div>X(4)</div> <div>97- 100</div> </div> </div>	X(100)
056	備考		以下の通りに分割使用する。 <div> <div> <div>要求地区</div> <div>X(1)</div> <div>1- 1</div> </div> <div> <div>購入地区</div> <div>X(1)</div> <div>2- 2</div> </div> <div> <div>用途番号</div> <div>X(18)</div> <div>3-20</div> </div> <div> <div>ブランク</div> <div>X(1)</div> <div>21-21</div> </div> <div> <div>ｼﾌﾄ経費区分</div> <div>X(1)</div> <div>22-22 “△” = 経費処理対象外 “1” = 経費処理対象</div> </div> <div> <div>ブランク</div> <div>X(7)</div> <div>23-29</div> </div> <div> <div>かんばん区分</div> <div>X(1)</div> <div>30-30 “0” = かんばん非対象 “N” = 納入代行 “X” = TOPICSかんばん “H” = 共同HUB “T” = かんばん=発注</div> </div> </div>	X(30)
057	消費税区分	*	“1” = 税込み、“2” = 税抜き	X(1)

059	課税区分	*	“1”＝課税取引、“2”＝非課税取引、“3”＝免税取引 “4”＝経過措置取引	X(1)
060	消費税額		消費税額	9(10)
061	合計額		注文金額＋消費税額	9(10)
082	決済条件区分	*	下請事業者：“3”＝交付書面による それ以外：“2”＝別途協議による	X(1)
159	納品キー番号		納品キー番号（繰り返しの場合あり）	X(23) × 31
160	受渡場所名		以下の項目をセットする。 受渡場所名 X(6) 1-6 社内届先 X(6) 7-12 ブランク X(1) 13-13 検査担当CD X(6) 14-19 “ムケンサ”＝無検査品 ブランク X(1) 20-20	X(20)
161	発注者用バーコード情報		No. 007注文番号をセットする。	X(23)
162	発注者用備考		以下の通りに分割使用する。 下請サイン X(1) 1- 1 “S”＝下請 単価区分 X(1) 2- 2 ※注 6 検算不能サイン X(1) 3- 3 “F”＝検算不能 自動発注サイン X(1) 4- 4 “A”＝自動注文 ブランク X(1) 5- 5 生産管理番号 X(13) 6- 18 ブランク X(1) 19- 19 要求元製造番号 X(18) 20- 37 社内管理項目 X(12) ・ブランク X(1) 38- 38 ・納番 X(5) 39- 43 ・ブランク X(1) 44- 44 ・背番号 X(4) 45- 48 ・ブランク X(1) 49- 49 かんばん区分 X(1) 50- 50 “O”＝かんばん非対象 “N”＝納入代行 “X”＝TOPICSかんばん “H”＝共同HUB “T”＝かんばん=発注	X(50)
170	変更注文区分(1)、(2)、(3)		“1”＝数量変更、“2”＝単価変更、“3”＝納期変更 “5”＝受渡場所変更、“6”＝検査区分変更 “7”＝購買担当変更、“9 9”＝その他 反復単位は1～3回	X(2) × 3
173	図面・仕様書番号		図面・仕様書番号 ※要求元製造番号欄	X(30)

※注3：6回／日（9:00、12:00、14:00、16:00、18:00、夜間）

※注4：発注者品名コードが、ブランクの場合は“／”

※注6：“1”＝決定、“3” “5” “6” “7”＝概算

価格変更時に「2」は出力せず、価格の状態（決定または概算）を示す、「1」または「3」「5」「6」「7」を出力いたします。価格変更の有無は、変更注文情報（情報区分＝0503）の項目No.00170「変更注文区分」が2 Δであるか否かでご判断下さい。

納入後の価格変更につきましては、EIAJ 標準通り、検収情報（情報区分＝0901）で変更前／変更後の2レコードを出力します。

【納期確認（０７０１）】

情報の流れ	発生頻度
当社→貴社	※注３

No.	項目名	CD	項目内容	桁数
001	データ処理No.		連番	9(5)
002	情報区分コード	*	“０７０１”	X(4)
003	データ作成日		データ発生日	9(6)
004	発注者コード		“１１３３９０２２２２２”	X(12)
005	受注者コード		貴社統一企業コード６桁＋枝番６桁	X(12)
007	注文番号		“製造番号”＋“＋”＋“行番” ※「かんばん＝発注」品は、 AT+事業部CD+TP+受渡場所+TOPICS納番+年月	X(23)
008	製造番号		製造番号	X(19)
009	訂正コード	*	”１”＝新規	X(1)
011	注文年月日		注文年月日	9(6)
012	単位	*	単位	X(3)
015	注文数量		注文数量	9(9)V9(3)
017	支給区分	*	“１”＝支給なし、“２”＝有償、“３”＝無償	X(1)
018	購買担当		購入（発注）担当バイヤを示すコード	X(7)
022	品名		品名	X(30)
023	受注者品名コード		受注者品名コード	X(25)
024	発注者品名コード		発注者品名コード+版数（22）+版数（3） ※注４	X(25)
034	納入No.		納期確認番号（最新）	X(8)
041	確認納期		納期	9(6)
042	確認数量		未納入数量	9(9)V9(3)
056	備考		納期確認メッセージ	X(30)
095	納期確認年月日		納期確認年月日	9(6)
096	納期回答要求年月日		納期回答期限	9(6)

※注３：６回／日（９：００、１２：００、１４：００、１６：００、１８：００、夜間）

※注４：発注者品名コードが、ブランクの場合は“／”

【納期回答（０７０２）】

情報の流れ	発生頻度
貴社→当社	※注 5

No.	項目名	CD	項目内容	桁数
001	データ処理No.		連番	9(5)
002	情報区分コード	*	“０７０２”	X(4)
003	データ作成日		データ発生日	9(6)
004	発注者コード		“１１３３９０２２２２２”	X(12)
005	受注者コード		貴社統一企業コード６桁＋枝番６桁	X(12)
007	注文番号		“製造番号”＋“＋”＋“行番” ※「かんばん＝発注」品は、 AT+事業部CD+TP+受渡場所+TOPICS納番+年月	X(23)
008	製造番号		製造番号	X(19)
009	訂正コード	*	”１”＝新規、“２”＝変更、“３”＝取消	X(1)
012	単位	*	単位	X(3)
015	注文数量		注文数量	9(9)V9(3)
018	購買担当		購入（発注）担当パイヤを示すコード	X(7)
023	受注者品名コード		受注者品名コード	X(25)
024	発注者品名コード		発注者品名コード+版数（22）+版数（3） ※注 4	X(25)
031	納期		納期（繰り返しの場合あり）	9(6)×31
034	納入No.		納入No.（繰り返しの場合あり）	X(8)×31
041	回答納期		回答納期（繰り返しの場合あり）	9(6)×31
042	回答数量		回答数量（繰り返しの場合あり）	9(9)V9(3) ×31
043	確認マーク		確認マーク（繰り返しの場合あり）	X(1)×31
056	備考		備考	X(30)

※注 4：発注者品名コードが、ブランクの場合は“／”

※注 5：貴社よりご送付頂いたデータを逐次取込。

【納入指示（０７０３）】

情報の流れ	発生頻度
当社→貴社	※注 3

No.	項目名	CD	項目内容	桁数
001	データ処理No.		連番	9(5)
002	情報区分コード	*	“０７０３”	X(4)
003	データ作成日		データ発生日	9(6)
004	発注者コード		“１１３３９０２２２２２”	X(12)
005	受注者コード		貴社統一企業コード６桁＋枝番６桁	X(12)
006	発注部門コード		要求元コード(5)+発注担当コード(1)+工程担当コード(2)	X(8)
007	注文番号		“製造番号”＋“＋”＋“行番” ※「かんばん＝発注」品は、 AT+事業部CD+TP+受渡場所+TOPICS納番+年月	X(23)
009	訂正コード	*	”１”＝新規、“２”＝変更、“３”＝取消	X(1)
011	注文年月日		注文年月日	9(6)
012	単位	*	単位	X(3)
018	購入担当		購入（発注）担当パイヤを示すコード	X(7)
022	品名		品名	X(30)
023	受注者品名コード		受注者品名コード	X(25)
024	発注者品名コード		発注者品名コード+版数（22）+版数(3) ※注 4	X(25)
028	受渡場所		受渡場所コード	X(8)
032	納入指示数量		納入指示数（繰り返しの場合あり）	9(9)V9(3)
033	納入指定日		納期（繰り返しの場合あり）	9(6)
056	備考		以下の通りに分割使用する。 <div> <div> 要求地区 X(1) 1-1 購入地区 X(1) 2-2 用途番号 X(18) 3-20 発生区分 X(1) 21-21 </div> <div> 分納＝“△” 不良代納＝“１” 不足補充＝“２” </div> </div> <div> <div> ソフト経費区分 X(1) 22-22 ブランク X(7) 23-30 かんばん区分 X(1) 30-30 </div> <div> “０”＝かんばん非対象 “N”＝納入代行 “X”＝TOPICSかんばん “H”＝共同HUB “T”＝かんばん＝発注 </div> </div>	X(30)
159	納品キー番号		整理番号（繰り返しの場合あり）	X(23)
160	受渡場所名		以下の項目をセットする。 <div> 受渡場所名 X(6) 1-6 社内届先 X(6) 7-12 ブランク X(1) 13-13 検査担当 X(6) 14-19 ブランク X(1) 20-20 </div>	X(20)
161	発注者用バーコード情報		No. 007注文番号をセットする。	X(23)
162	発注者用備考		以下の通りに分割使用する。 <div> <div> 下請サイン X(1) 1-1 単価区分 X(1) 2-2 検算不能サイン X(1) 3-3 自動発注サイン X(1) 4-4 ブランク X(1) 5-5 生産管理番号 X(13) 6-18 ブランク X(1) 19-19 要求元製造番号 X(18) 20-37 社内管理項目 X(13) 38-50 </div> <div> “S”＝下請 ※注 6 “F”＝検算不能 “A”＝自動注文 </div> </div>	X(50)

※注3：6回／日（9:00、12:00、14:00、16:00、18:00、夜間）

※注4：発注者品名コードが、ブランクの場合は“／”

※注6：“1”＝決定、“3” “5” “6” “7”＝概算

価格変更時に「2」は出力せず、価格の状態（決定または概算）を示す、「1」または「3」「5」「6」「7」を出力いたします。価格変更の有無は、変更注文情報（情報区分＝0503）の項目No.00170「変更注文区分」が2 Δであるか否かでご判断下さい。

納入後の価格変更につきましては、EIAJ 標準通り、検収情報（情報区分＝0901）で変更前／変更後の2レコードを出力します。

【入荷情報（０７０５）】

情報の流れ	発生頻度
当社→貴社	※注３

No.	項目名	CD	項目内容	桁数
001	データ処理No.		連番	9(5)
002	情報区分コード	*	“０７０５”	X(4)
003	データ作成日		データ発生日	9(6)
004	発注者コード		“１１３３９０２２２２２”	X(12)
005	受注者コード		貴社統一企業コード６桁＋枝番６桁	X(12)
006	発注部門コード		要求元コード(5)+発注担当コード(1)+工程担当コード(2)	X(8)
007	注文番号		“製造番号”＋“＋”＋“行番” ※ 「かんぱん＝発注」品は、 AT+事業部CD+TP+受渡場所+TOPICS納番+年月	X(23)
009	訂正コード	*	”１”＝新規、“２”＝変更、“３”＝取消	X(1)
012	単位	*	単位	X(3)
013	単価		単価	9(10)V9(3)
018	購買担当		購入（発注）担当パイヤを示すコード	X(7)
022	品名		品名	X(30)
023	受注者品名コード		受注者品名コード	X(25)
024	発注者品名コード		発注者品名コード+版数（22）+版数（3） ※注４	X(25)
035	合計納入数量		納入数量累計	9(9)V9(3)
036	納入数量		納入数量	9(9)V9(3)
037	未納入数量		注文番号単位の未納入数量（未納入数量累計）	9(9)V9(3)
038	納入金額		納入金額（納入数量×単価）	9(10)
040	納入日		納入年月日	9(6)
159	納品キー番号		納品キー番号	X(23)

※注３：６回／日（９：００、１２：００、１４：００、１６：００、１８：００、夜間）

※注４：発注者品名コードが、ブランクの場合は“／”

【検査情報（０８０１）】

情報の流れ	発生頻度
当社→貴社	※注３

No.	項目名	CD	項目内容	桁数
001	データ処理No.		連番	9(5)
002	情報区分コード	*	“０８０１”	X(4)
003	データ作成日		データ発生日	9(6)
004	発注者コード		“１１３３９０２２２２２”	X(12)
005	受注者コード		貴社統一企業コード６桁＋枝番６桁	X(12)
006	発注部門コード		要求元コード(5)+発注担当コード(1)+工程担当コード(2)	X(8)
007	注文番号		“製造番号”＋“＋”＋“行番” ※「かんばん＝発注」品は、 AT+事業部CD+TP+受渡場所+TOPICS納番+年月	X(23)
009	訂正コード	*	”１”＝新規、“２”＝変更、“３”＝取消	X(1)
012	単位	*	単位	X(3)
018	購入担当		購入（発注）担当バイヤを示すコード	X(7)
022	品名		品名	X(30)
023	受注者品名コード		受注者品名コード	X(25)
024	発注者品名コード		発注者品名コード+版数（22）+版数(3) ※注４	X(25)
028	受渡場所		受渡場所コード	X(8)
029	検査区分		“M”＝無検査、“Z”＝無検査以外	X(3)
036	納入数量		納入数量	9(9)V9(3)
040	納入日		納入年月日	9(6)
047	不良数量		不良数量	9(9)V9(3)
121	検査合格数量		納入数量－不良数量	9(9)V9(3)
122	特採数量		０（ゼロ）をセット	9(9)V9(3)
124	不合格区分		“Z”＝代納要	X(3)
126	検査年月日		検査年月日	9(6)
159	納品キー番号		納品キー番号	X(23)

※注３：６回／日（９：００、１２：００、１４：００、１６：００、１８：００、夜間）

※注４：発注者品名コードが、ブランクの場合は“／”

【検収情報（０９０１）】

情報の流れ	発生頻度
当社→貴社	※注 3

No.	項目名	CD	項目内容	桁数
001	データ処理No.		連番	9(5)
002	情報区分コード	*	“０９０１”	X(4)
003	データ作成日		データ発生日	9(6)
004	発注者コード		“１１３３９０２２２２２”	X(12)
005	受注者コード		貴社統一企業コード 6 桁 + 枝番 6 桁	X(12)
006	発注部門コード		要求元コード(5)+発注担当コード(1)+工程担当コード(2)	X(8)
007	注文番号		“製造番号” + “+” + “行番” ※「かんばん=発注」品は、 AT+事業部CD+TP+受渡場所+TOPICS納番+年月	X(23)
009	訂正コード	*	” 1 ” = 新規、“ 2 ” = 変更、“ 3 ” = 取消	X(1)
012	単位	*	単位	X(3)
013	単価		単価	9(10)V9(3)
014	単価区分	*	“1”=決定,”2”=変更,”3”=概算,”4”=算定方式による,”5”=未定(試作品等),”6”=未定(修理品),”7”=未定(仕様未決定) ※注 6	X(1)
015	注文数量		注文数量	9(9)V9(3)
018	購入担当		購入（発注）担当バイヤを示すコード	X(7)
021	版数		版数	X(3)
022	品名		品名	X(30)
023	受注者品名コード		受注者品名コード	X(25)
024	発注者品名コード		発注者品名コード+版数（22）+版数（3） ※注 4	X(25)
028	受渡場所		受渡場所コード	X(8)
036	納入数量		納入数量	9(9)V9(3)
040	納入日		納入年月日	9(6)
046	不足数量		不足数量	9(9)V9(3)
047	不良数量		不良数量	9(9)V9(3)
048	検収単価		検収時の単価	9(10)V9(3)
049	検収金額		良品数量×単価	9(10)
050	検収数量		検収数量	9(9)V9(3)
051	検収日		検収年月日	9(6)
052	検収区分		検収の内容を表す “△” = 通常検収、“ 2 ” = 不良、 3 ” = 不足、 “ 4 ” = 不良と不足、“ 9 ” = 検算不能検収 “ A ” 簡易購買、“ B ” = 完了後訂正	X(1)
056	備考		以下の通りに分割使用する。 “チュモンビ” X(7) 1- 7 注文年月日 X(6) 8-13 ブランク X(1) 14-14 “ノキ” X(3) 15-17 納期 X(6) 18-23 ブランク X(7) 24-29 かんばん区分 X(1) 30-30 “ 0 ” = かんばん非対象 “ N ” = 納入代行 “ X ” = TOPICSかんばん “ H ” = 共同HUB “ T ” = かんばん=発注	X(30)
057	消費税区分		“ 1 ” = 税込み、“ 2 ” = 税抜き	X(1)
058	取引符号区分		“ 1 ” = プラス、“ 2 ” = マイナス	X(1)
059	課税区分		“ 1 ” = 課税取引、“ 2 ” = 非課税取引、“ 3 ” = 免税取引 “ 4 ” = 経過措置取引	X(1)
060	消費税額		消費税額	9(10)
061	合計額		検収金額 + 消費税額	9(10)
142	計上月度		検収年月	9(4)

159	納品キー番号		納品キー番号	X(23)
-----	--------	--	--------	-------

※注3：6回／日（9:00、12:00、14:00、16:00、18:00、夜間）

※注4：発注者品名コードが、ブランクの場合は“／”

※注6：“1”＝決定、“3” “5” “6” “7”＝概算

価格変更時に「2」は出力せず、価格の状態（決定または概算）を示す、「1」または「3」「5」「6」「7」を出力いたします。価格変更の有無は、変更注文情報（情報区分＝0503）の項目No.00170「変更注文区分」が2 Δであるか否かでご判断下さい。

納入後の価格変更につきましては、EIAJ 標準通り、検収情報（情報区分＝0901）で変更前／変更後の2レコードを出力します。

【買掛明細情報（１１０１）】

情報の流れ	発生頻度
当社→貴社	月

No.	項目名	CD	項目内容	桁数
001	データ処理No.		連番	9(5)
002	情報区分コード	*	“１１０１”	X(4)
003	データ作成日		データ発生日	9(6)
004	発注者コード		“１１３３９０２２２２２”	X(12)
005	受注者コード		貴社統一企業コード６桁＋枝番６桁	X(12)
006	発注部門コード		要求元コード(5)+発注担当コード(1)+工程担当コード(2)	X(8)
007	注文番号		“製造番号”＋“＋”＋“行番” ※「かんばん＝発注」品は、AT+事業部CD+TP+受渡場所+TOPICS納番	X(23)
009	訂正コード	*	”１”＝新規、“２”＝変更、“３”＝取消	X(1)
012	単位	*	単位	X(3)
013	単価		単価	9(10)V9(3)
014	単価区分	*	“1”＝決定,“2”＝変更,“3”＝概算,“4”＝算定方式による,“5”＝未定(試作品等),“6”＝未定(修理品),“7”＝未定(仕様未決定) ※注 6	X(1)
018	購買担当		購入（発注）担当バイヤを示すコード	X(7)
022	品名		品名	X(30)
023	受注者品名コード		受注者品名コード	X(25)
024	発注者品名コード		発注者品名コード+版数（22）+版数(3) ※注 4	X(25)
028	受渡場所		受渡場所コード	X(8)
036	納入数量		納入数量	9(9)V9(3)
040	納入日		納入年月日	9(6)
046	不足数量		不足数量	9(9)V9(3)
047	不良数量		不良数量	9(9)V9(3)
048	検収単価		検収時の単価	9(10)V9(3)
049	検収金額		検収金額	9(10)
050	検収数量		検収数量	9(9)V9(3)
051	検収日		検収年月日	9(6)
052	検収区分		検収の内容を表す “△”＝通常検収、“１”＝特採、“２”＝不良、 “３”＝不足、“４”＝不良と不足、“９”＝検算不能検収 “Ａ”簡易購買、“Ｂ”＝完了後訂正	X(1)
057	消費税区分		“１”＝税込み、“２”＝税抜き	X(1)
058	取引符号区分		“１”＝プラス、“２”＝マイナス	X(1)
059	課税区分		“１”＝課税取引、“２”＝非課税取引、“３”＝免税取引 “４”＝経過措置取引	X(1)
060	消費税額		消費税額	9(10)
061	合計額		検収金額＋消費税額	9(10)
142	計上月度		検収年月	9(4)
159	納品キー番号		納品キー番号	X(23)

※注４：発注者品名コードが、ブランクの場合は“／”

※注６：“１”＝決定、“３” “５” “６” “７”＝概算

価格変更時に「２」は出力せず、価格の状態（決定または概算）を示す、「１」または「３」「５」「６」「７」を出力いたします。価格変更の有無は、変更注文情報（情報区分＝0503）の項目No.00170「変更注文区分」が２△であるか否かでご判断下さい。

納入後の価格変更につきましては、EIAJ 標準通り、検収情報（情報区分＝0901）で変更前／変更後の２レコードを出力します。

6. 変更・取消データの作成方法

変更・取消データの作成方法は、E I A J 取引情報化対応標準 1 9 9 4 年版 デ 8 1 ページのとおりとする。

変更・取消データの作成	情報区分と情報の種類
変更後のデータレコードのみを作成する。	0 7 0 3 納入指示情報
変更前と変更後の 2 件のデータレコードを作成する。	0 7 0 5 入荷情報
	0 8 0 1 検査情報
	0 9 0 1 検収情報
	1 1 0 1 買掛明細情報

*注文情報に関しては、確定（0 5 0 2）、変更（0 5 0 3）、取消（0 5 0 4）、打切（0 5 0 5）と、情報区分が分かれている。

7. 納品方法

納品書(EIAJ標準納品書)および 荷札(標準納品荷札)を出力し、次の方法で納入時に添付して下さい。

E D I 標準納品書

納品書		納品書兼検査表	
発注者 N E C アクセステクニカ株式会社	納品キー番号 018-00079332001	受注者 N E C アクセステクニカ株式会社 (株) ** 電気	
受発場所 AT A16 160	購買担当 3231371	受発場所 AT A16 160	
品名コード 808-877588-001-A001	品名 セラミックコンデンサ	品名コード 808-877588-001-A001	
出荷日 2002-02-17	発注者用備考 SL4-4010200-1 4999459 Z05 SL44010200	品名 セラミックコンデンサ	
納期 2002-02-17	納入(予定)日 2002-02-17	入数/納入数量 2,000 / 10,000	
納品数量 10,000	納入数量 10,000	単位 PC	
受注者用備考 SL4-4010200-1 4999459	検査 検査数量 10,000	検査 検査数量 10,000	
単価 10	総額 100,000	受入 受入数量 10,000	
税額 5,000	税込額 105,000	受入 受入数量 10,000	
発注者使用欄	検査区分 不具合区分	受入 受入数量 10,000	
受注者 (株) ** 電気		受注者 (株) ** 電気	
E I A J 標準納品書		E I A J 標準納品書	

荷札(Dラベル)

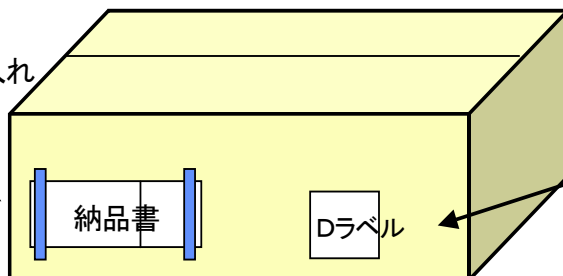
納品書		納品書兼検査表	
発注者 N E C アクセステクニカ株式会社	納品キー番号 018-00079332001	受注者 N E C アクセステクニカ株式会社 (株) ** 電気	
受発場所 AT A16 160	購買担当 3231371	受発場所 AT A16 160	
品名コード 808-877588-001-A001	品名 セラミックコンデンサ	品名コード 808-877588-001-A001	
出荷日 2002-02-17	発注者用備考 SL4-4010200-1 4999459	品名 セラミックコンデンサ	
納期 2002-02-17	納入(予定)日 2002-02-17	入数/納入数量 2,000 / 10,000	
納品数量 10,000	納入数量 10,000	単位 PC	
受注者用備考 SL4-4010200-1 4999459	検査 検査数量 10,000	検査 検査数量 10,000	
単価 10	総額 100,000	受入 受入数量 10,000	
税額 5,000	税込額 105,000	受入 受入数量 10,000	
発注者使用欄	検査区分 不具合区分	受入 受入数量 10,000	
受注者 (株) ** 電気		受注者 (株) ** 電気	
E I A J 標準納品書		E I A J 標準納品書	

※切らないで下さい

- ・納品書は、荷札一体型で出力し、切り離さずに添付して下さい。
- ・Dラベル(荷札)は、複数出力とし箱単位に貼付けて下さい。

《 基本・単品 》

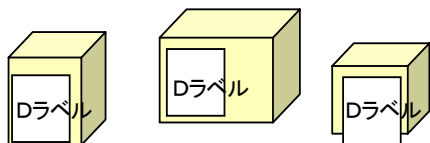
ビニル袋や封筒に入れ
テープ等で貼る



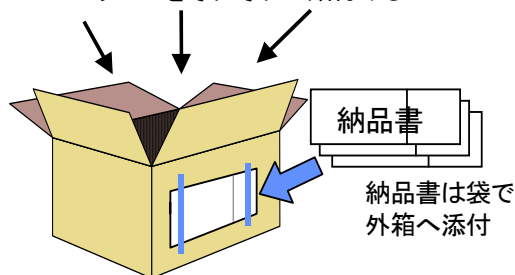
Dラベル(荷札)
シールを
貼りつける

《 混載の場合 》

※ 複数の要求部門(発注部門)への
納品の混載はしないで下さい。

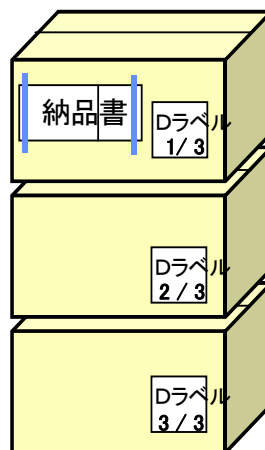


Dラベルをそれぞれに貼付ける



納品書は袋で
外箱へ添付

《 単品を複数箱で納入の場合 》



・納品書は1箱目
に添付

・Dラベルは
1箱ずつ貼付

※この方法はすべての納品方法の基本となります。
貴社の分工場や2次取引先から直送する場合も必ず徹底して下さい。
また、梱包は弊社 要求部門単位にお願いします。

8. 納品場所

納品においては注文書記載の受渡場所名にて判別し、各々指定の場所に納品して下さい。
送り状等の宛名には必ず受入場所名迄明記して下さい。

①受渡場所名：「A T _A トウ」(受渡場所コード：ATA10000)の納品場所

【納品場所】 〒436-8501 掛川市下俣 8 0 0 番地
N E C アクセステクニカ A棟受入
TEL:0537-22-8395 FAX:なし

②受渡場所名：「A T _B トウ」(受渡場所コード：ATB10000)の納品場所

【納品場所】 〒436-8501 掛川市下俣 8 0 0 番地
N E C アクセステクニカ B棟受入
TEL:0537-22-8481 FAX:0537-22-8329

③受渡場所名：「A T _D トウ」(受渡場所コード：ATD10000)の納品場所

【納品場所】 〒436-8501 掛川市下俣 8 0 0 番地
N E C アクセステクニカ D棟受入
TEL:0537-22-8261 FAX:0537-22-8257

④受渡場所名：「A T _E トウ」(受渡場所コード：ATE10000)の納品場所

【納品場所】 〒436-8501 掛川市下俣 8 0 0 番地
N E C アクセステクニカ E棟受入
TEL:0537-22-8543 FAX:0537-22-8579

⑤受渡場所名：「A T ニシテツ」(受渡場所コード：ATNNR000)の納品場所

【納品場所】 〒289-1608 千葉県山武郡芝山町岩山 1340-48 成田空港南部工業団地C
西鉄 成田ロジスティックセンター

⑥受渡場所名：「オオイケ」(受渡場所コード：AT010000)の納品場所

【納品場所】 〒436-0043 掛川市大池 2 7 7 1 - 1
新開(株)大池倉庫内 NEC アクセステクニカ 資材部受入
TEL:0537-21-2527 FAX:0537-21-2526

⑦受渡場所名：「A T _オオイ」(受渡場所コード：AT00IK00)の納品場所[輸出梱包済み]

【納品場所】 〒143-0001 東京都大田区東海 4 - 2 - 1 0
N E C ロジスティックス N E C 国際物流センター内

⑧受渡場所名：「A T オオイ K」(受渡場所コード：AT00IK10)の納品場所[輸出梱包委託]

【納品場所】 〒143-0001 東京都大田区東海 4 - 2 - 1 0
N E C ロジスティックス N E C 国際物流センター内

⑨受渡場所名：「A T オオイ P」(受渡場所コード：AT00IPCC)の納品場所

【納品場所】 〒143-0001 東京都大田区東海 4-3-10 (三菱倉庫内)
NECロジスティックス 大井PC運送センター

⑩受渡場所名：「A T サンリツ」(受渡場所コード：ATSRTK00)の納品場所[輸出梱包済み]

【納品場所】 〒286-0825 千葉県成田市新泉 24 野毛平工業団地内 1期棟内
サンリツ成田営業所 NECロジスティックス扱い

⑪受渡場所名：「A T サンリ K」(受渡場所コード：ATSRTK10)の納品場所[輸出梱包委託]

【納品場所】 〒286-0825 千葉県成田市新泉 24 野毛平工業団地内 1期棟内
サンリツ成田営業所 NECロジスティックス扱い

⑫受渡場所名：「ヤマザキ」(受渡場所コード：ATY10000)の納品場所

【納品場所】 〒432-8064 静岡県静岡市新川 1-7-9
山崎工業内 NECアクセステクニカ資材部受入

⑬受渡場所名：「A T _ Y G F」(受渡場所コード：ATYGF000)の納品場所

【納品場所】 〒286-0102 千葉県成田市天神峰南台 44-1
ヤマトグローバルフレイト 成田物流

履歴

2002年2月18日 Ver 1
2002年5月20日 Ver 2 送信サイクル変更 (1回/日→ 5回/日)
2003年3月10日 Ver 3 かんばん区分追加 (T：発注=かんばん)、「発注者備考欄」修正
2003年12月1日 Ver 3 Rev01 発注者備考欄にかんばん区分追加、受入電話番号表記
2004年2月2日 Ver 3 Rev02 注文区分 (05**) の「自由使用欄」「発注者備考欄」修正
2004年3月2日 Ver 3 Rev03 注文区分 (05**) の「発注者備考欄」修正
2004年4月1日 Ver 3 Rev04 改正下請法対応「単価区分」の修正
2005年9月30日 Ver 3 Rev05 送信サイクルの変更
2005年11月22日 Ver 3 Rev06 納品場所追加
2011年4月1日 Ver 3 Rev07 かんばん=発注品の注文番号体系変更